【第7節】総合戦略の体系

基本目標と基本的方向

総合戦略の体系

【基本目標Ⅰ】「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり

＜基本的方向＞

- (1) 結婚・出産の希望をかなえる環境づくり
- (2) 子どもたちの健やかな発育の支援
- (3) 子育てと仕事の両立支援体制の充実

【基本目標Ⅱ】一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援

＜基本的方向＞

- (1) 知識・経験を生かして地域に貢献する人材の育成

【基本目標Ⅲ】健康寿命の延伸をめざした健康づくりの推進

＜基本的方向＞

- (1) 定期的な健康チェックの推進
- (2) 元気に生涯活躍できる環境づくりの推進

【基本目標Ⅳ】活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出

＜基本的方向＞

- (1) ものづくり産業の振興
- (2) 商店街活性化と産業集積による地域の賑わいの創出
- (3) 産業として成立する農林業の確立
- (4) 安定した雇用の創出と次代の担い手の育成

【基本目標Ⅴ】新旧の魅力が融合する観光の振興

＜基本的方向＞

- (1) 地域資源を活用した観光産業の振興
- (2) 新たな魅力づくりとまちのブランド化の促進

【基本目標Ⅵ】住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり

＜基本的方向＞

- (1) 支援を必要とする人への相談支援体制の充実
- (2) 安心して生活できる防犯体制の整備

【基本目標Ⅶ】災害に備える仕組みづくり

＜基本的方向＞

- (1) 地域における防災体制の強化

【基本目標Ⅷ】みんなで取り組む連携・協働のまちづくり

＜基本的方向＞

- (1) コミュニティの活性化と担い手の育成

【基本目標Ⅸ】既存ストックの適正管理の促進

＜基本的方向＞

- (1) 既存ストックの適正管理の促進

【基本目標Ⅵ】 住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり

事業 N01

（数値目標）

指 標	基準値（平成 26 年度）	数値目標（平成 31 年度）
市内犯罪件数 （街頭犯罪・強制わいせつ件数）	1,312 件	1,250 件 （約 5%減少）

基本的方向(2) 安心して生活できる防犯体制の整備

＜施策の方針＞

- ◎市民一人ひとりが防犯意識を持つよう、子どもの頃から啓発を行います。
- ◎行政、市民、各種団体が連携して防犯活動を推進し、防犯体制や防犯環境を整備します。

＜具体的な取組み＞

◆防犯カメラ設置による安心して生活できる防犯環境の整備

- 街頭犯罪の減少や、子ども・女性を対象とした犯罪の抑止を図るため、通学路を中心に、犯罪の抑止力として効果の高い防犯カメラを設置しようとする町会・自治会の支援を行い、設置を推進します。

◆連携による防犯体制の充実

- 和泉防犯協議会、和泉市安全なまちづくり推進協議会や警察機関と一体となって、効果的に防犯活動に取り組みます。

◆防犯意識の醸成

- 市民一人ひとりが日常から防犯意識を持つよう啓発を行います。
- 小さい頃から防犯に対する意識や知識を備えるため、子どもを対象とする防犯教室の開催や防犯マップの作成を行います。

＜KPI(重要業績評価指標)＞

事業 N01

指 標	基準値 （平成 26 年度）	目標値 （平成 31 年度）
防犯カメラの延べ設置台数	64 台	300 台
地域見守りの年間活動日数	243 日	243 日
防犯教室・防犯啓発の年間活動回数	104 回	110 回

【基本目標Ⅰ】「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり

(数値目標)

事業 N02

指 標	基準値(平成 25 年度)	数値目標(平成 31 年度)
合計特殊出生率	1.37	1.6
安心して子育てが出来る環境が整っていると思う市民の割合	41.8%	50.0%
指 標	基準値(平成 26 年度)	数値目標(平成 31 年度)
社会動態(転入者数-転出者数)	均 衡	均 衡

基本的方向(2) 子どもたちの健やかな発育の支援**<施策の方針>**

- ◎健康診査の充実や予防接種の受診を促進し、疾病の予防や早期発見に努めます。
- ◎保護者の育児不安を軽減するための取組みを推進し、乳幼児の健やかな発育・発達を見守る体制づくりを強化します。
- ◎医療や予防接種に要する経済的負担の軽減に努めます。

<具体的な取組み>**◆乳幼児健康診査の充実**

○乳幼児健康診査の充実を図り、健康診査を活用して、子どもの健やかな成長を見守り、疾病の予防や早期発見に努めます。

◆各種予防接種の充実と接種率の向上

○子どもの感染症のまん延を防止するため、各種予防接種の接種率の向上に向けて取り組みます。

◆こども医療費助成の対象年齢の拡大

○子どもの健やかな成長の支援と子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができるようにするため、こども医療費助成(通院助成)の対象年齢の拡大に向けて取り組みます。

◆育児相談支援体制の充実

○妊娠・出産・育児と、切れ目なく継続的に支援できる体制の充実を図り、保護者の様々な不安や悩みに対応するとともに、子育てに関する必要な情報提供や啓発に取り組みます。

<KPI(重要業績評価指標)>

指 標	基準値 (平成 26 年度)	目標値 (平成 31 年度)
乳幼児健康診査受診率 (4か月児、1歳6か月児、3歳6か月児健康診査)	93%	94%
日本脳炎、BCG、麻しん・風しんの接種率	91%	93%
こども医療費助成の拡大	(通院) 小学3年生まで (入院) 中学3年生まで	(通院) 中学3年生まで (入院) 中学3年生まで
子育て支援総合案内窓口の設置	—	1か所
年間保健指導数	11,174 件	11,600 件

事業 N02

【基本目標V】新旧の魅力が融合する観光の振興

事業 N03

(数値目標)

指 標	基準値(平成22年度)	数値目標(平成31年度)
年間観光客数	949,029人	1,600,000人

基本的方向(1) 地域資源を活用した観光産業の振興

＜施策の方針＞

- ◎地場産業や歴史遺産など地域資源を活用し、他の地域と差別化した和泉市にしかできない意外性と話題性のある「和泉の観光スタイル」を確立します。
- ◎インバウンドへの対応等、外国人観光客の受入れ体制の強化を図ります。

＜具体的な取組み＞

◆地場産業との連携による来訪の促進

- 地場産業をはじめ、市内における商品・製品・サービスなど、市が持つ観光資源となりうるものを最大限に活用し、より戦略的で効果的な来訪、誘客の取組みを行います。

◆歴史遺産を生かした観光拠点の整備

- 史跡池上曾根遺跡や史跡和泉黄金塚古墳をはじめとする歴史遺産の整備を行い、観光拠点としての活用を図ります。
- 池上曾根史跡公園やいずみの国歴史館等の展示公開施設について、泉大津市立池上曾根弥生学習館及び大阪府立弥生文化博物館と連携し、観光拠点として一体的な活用を図ります。

◆外国人観光客の受入れ体制の強化

- 近年増加している外国人観光客の誘致を図るとともに、市内観光施設において、多言語に対応した映像やパンフレットの作成、表示板の設置を推進するほか、無料公衆無線LANの整備など、施設の充実を図ります。

＜KPI(重要業績評価指標)＞

指 標	基準値 (平成26年度)	目標値 (平成31年度)
いずみの国観光おもてなし処の年間来館者数	7,825人	16,000人
国史跡池上曾根史跡公園、国史跡和泉黄金塚古墳ほか府、市史跡の年間来訪者数	118,000人	160,000人
いずみの国観光おもてなし処の外国人年間来館者数	73人	140人
モニターツアーの実施延べ回数	—	20回

事業 N03

【基本目標Ⅳ】 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出

（数値目標）

指 標	基準値(平成26年度)	数値目標(平成31年度)
新技術、新製品事業化の延べ件数	—	2件
創業セミナーの受講者による商店街における創業件数	4件	6件
年間新規就農者数	5人	6人
和泉市就職情報フェア、和泉市無料職業紹介における就職者数 (平成27年度～平成31年度)	—	570人

事業 N04

指 標	基準値(平成25年度)	数値目標(平成31年度)
市内の商工業に活力があると感じる市民の割合	19.3%	25.0%
市内の農林業に活力があると感じる市民の割合	16.8%	25.0%

基本的方向(3) 産業として成立する農林業の確立

＜施策の方針＞

- ◎地域資源が地域内で循環する地産地消の取組みを進めます。
- ◎6次産業化に対する支援を行うなど、総合的な地域農林業活性化策を講じることにより、農林業経営の安定化につなげます。

＜具体的な取組み＞

◆新たな農産物の産地化促進

- 新たに整備を行う「(仮称)和泉市農業振興研究施設」において、特産品の振興や新たな農産物の産地化・ブランド化に向けた支援を行います。

◆6次産業化の促進

- 農業経営者が農産物の生産から加工、販売まで行う6次産業化を促進するため、農産物の加工技術の習得や販路開拓を支援し、魅力ある農業経営の確立に取り組みます。

◆地産地消・都市農村交流の推進

- 都市近郊に立地する本市農業の特性を生かし、生産者と消費者を直接結びつける地産地消の取組みを推進し、安全で安心な農産物を市民に届けるとともに、農業体験交流

施設（いずみふれあい農の里）を拠点に農業体験を通じて、市内産農産物のPRを積極的に行います。

◆林業の再生に向けた木材のブランド化

○市内産木材のブランド化（いずもくプロジェクト）を推進し、市内産木材の利用促進を図り、林業の振興に取り組みます。

<KPI(重要業績評価指標)>

指 標	基準値 (平成 26 年度)	目標値 (平成 31 年度)
道の駅における生鮮農産物の年間販売額	94,240 千円	104,000 千円
道の駅における加工品の年間販売額	42,712 千円	47,000 千円
農業体験交流施設の年間利用者数	31,500 人	35,000 人
森林経営計画に基づくいずもくの年間搬出材積	689 m ³	750 m ³

基本的方向(4) 安定した雇用の創出と次代の担い手の育成

<施策の方針>

- ◎中小企業の後継者の育成や農林業の担い手の育成を行います。
- ◎就職困難者等をはじめとした働く意欲のある市民一人ひとりの就労を実現し、安心して働くことのできる環境を整備します。

<具体的な取組み>

◆中小企業の後継者育成

○大学と連携して、市内の「ものづくり」に関連する中小企業の後継者を育成するため、後継者が担うべき経営戦略を学ぶ機会を提供するとともに、新しい事業の創出を支援します。

◆農林業の担い手の育成

○農林業関係機関及び各種団体と連携を図りながら、新規就業者確保・育成に向けた講座を開講し、意欲ある担い手を育成します。

◆地域就労の支援

○和泉市無料職業紹介センターや就職情報フェアの開催を通して、働く意欲のある市民が、能力や経験等を生かして就労できるよう支援します。

事業 N04

<KPI(重要業績評価指標)>

指 標	基準値 (平成 26 年度)	目標値 (平成 31 年度)
大学等と連携した中小企業のための個別相談の 延べ件数	3 件	20 件
認定農業者数	77 人	85 人
和泉市就職情報フェアの年間就職者数	28 人	38 人
和泉市無料職業紹介センターにおける年間就職 者数	65 人	90 人